

道営工業用水道

道営工業用水施設の改修計画

その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

令和6年3月
北海道企業局



主な改修事業について

○改修目的

- ・契約水量の増量に対する改修(⇔)
- ・管路からの漏水による第三者への影響や給水停止リスク回避(⇔)

年度	S42	S50	S60	S63	H1	H10	H20	H30	R1	R10
室蘭	● S42供給開始	⇔ S51～54貯水池拡張事業 (日量10万m ³ →11.5万m ³ への対応) ★S55:10,290m ³ /日の増量				⇔ H5～8第一期改修 (室蘭幹線配水管) ★H4大規模漏水	⇔ H8～17第二期改修(室蘭幹線・本輪西日石線配水管)	⇔ H23～R1第三期改修 (室蘭幹線・本輪西日石線)	⇔ H30～R9第四期改修 (放流設備耐震化等)	
苫小牧	● S45供給開始						⇔ H18～23第一期改修(東幹線・南幹線) ★H15大規模漏水(十勝沖地震)			
		● S54供給開始				⇔ H11～12配水管増設(第二厚真支線) ★H12:3,000m ³ /日の増量	⇔ H19～21配水管増設(第二厚真支線) ★H22:9,600m ³ /日の増量	⇔ H29～R9第二期改修 (苫二幹線柏原・勇払地区)		
石狩					● H11供給開始		⇔ H25～26配水管増設 (樽川支線) ★H27:300m ³ /日の増量			

室蘭地区工業用水道第四期改修事業

○改修目的

- 耐震診断の結果、大規模地震動の際に、ゲートの操作性に課題があるため、施設の重要性や第三者への影響などから対策が必要と判断し、改修事業に着手した。

項目	事業概要
事業内容	ゲートの耐震補強等
事業期間	平成30年度～令和9年度

年度	経過
H30 ～R2	第一、第二余水吐に係る耐震補強基本設計・実施設計を委託
R3	第一余水吐仮締切製作工事
R4～5	第一余水吐耐震補強等強靱化工事 (ゲート補強及び開閉装置更新)
R5	第一余水吐門柱補強工事 第二余水吐連絡橋耐震対策工事 第二余水吐仮締切製作工事



○ 事業計画図

第二余水吐・連絡橋

- ゲート補強、開閉装置更新 一式(R7~9予定)
- 連絡橋耐震対策 一式(R5施工)
- 放水路トンネル補強 一式(R7~8予定)

第一余水吐

- ゲート補強、開閉装置更新 一式(R4~5施工)
- 門柱補強 一式(R5施工)



項目	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)
第一余水吐	関係機関協議(河川管理者)	事前協議								
	耐震補強調査・設計	基本設計	実施設計							
	耐震補強等強靱化工事			工事施工						
第二余水吐	関係機関協議(河川管理者)		事前協議							
	耐震補強調査・設計		基本設計	実施設計						
	耐震補強等強靱化工事					工事施工				
補助金の取扱い	単年度・新規事業									

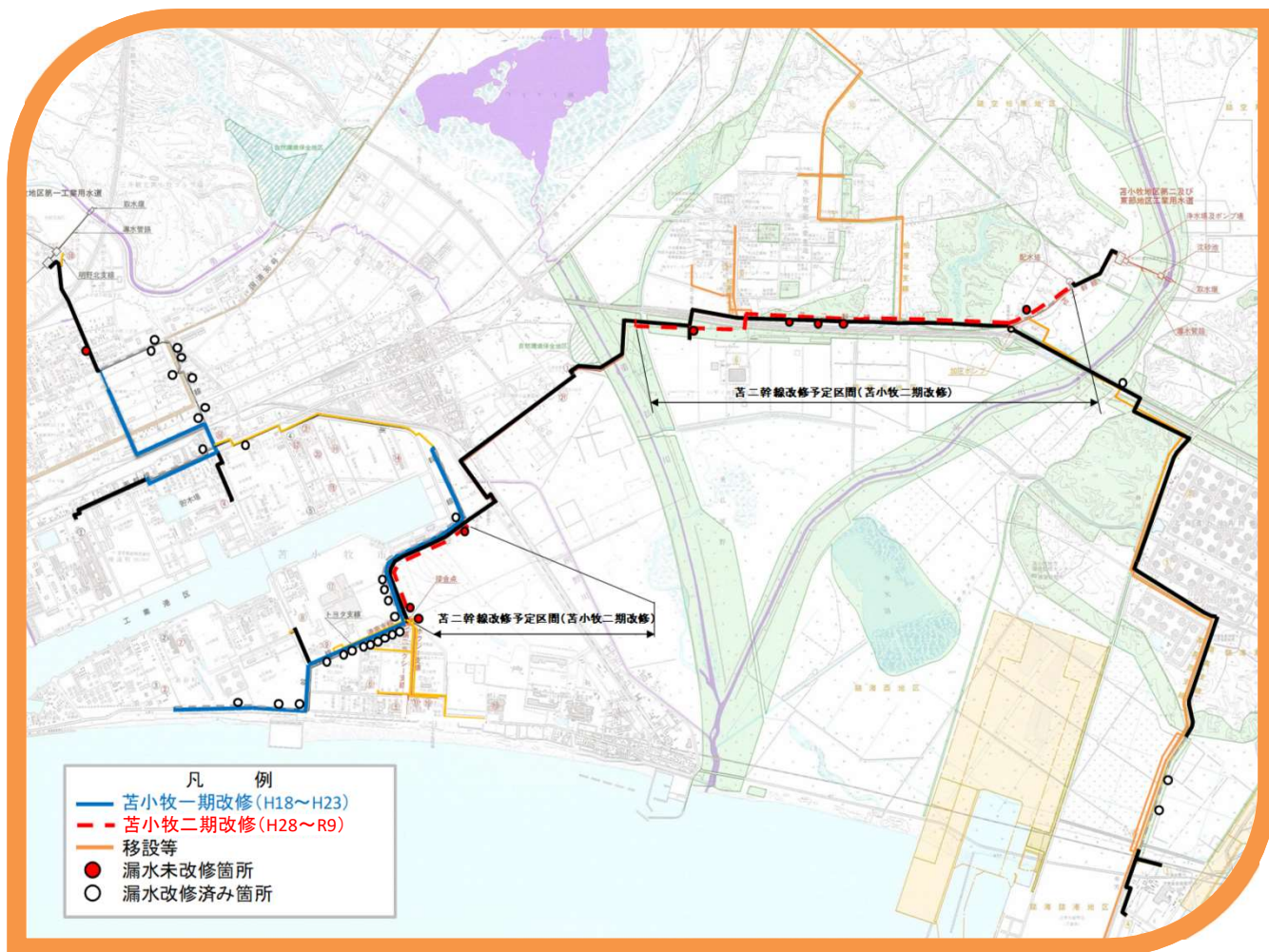
苫小牧地区工業用水道第二期改修事業

○改修目的

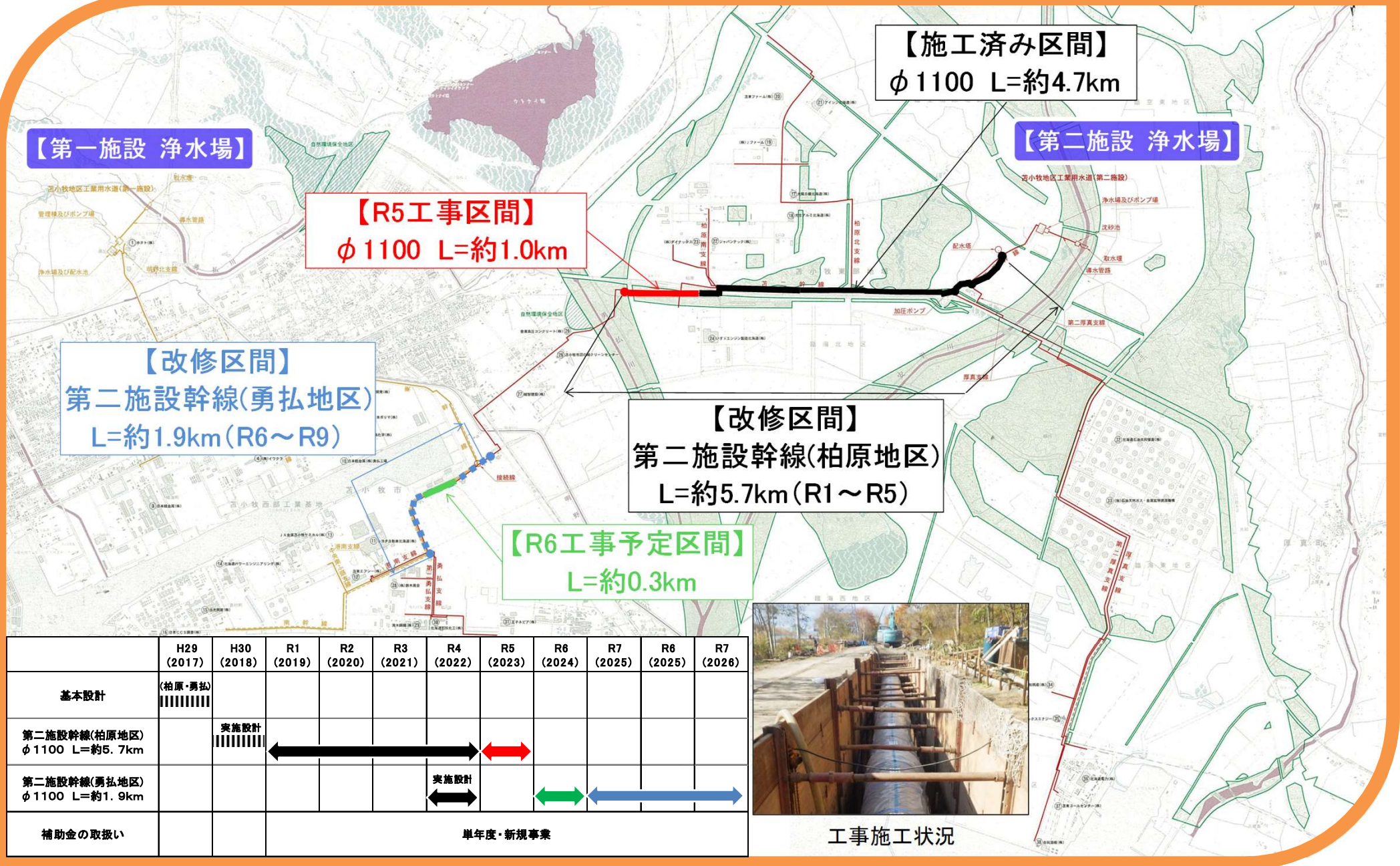
- 地震に伴う過去の漏水を踏まえたPC管の更新(耐震化)により、給水停止リスクの低減を図る。

事業概要	
事業内容	配水管の更新(耐震化)
事業期間	平成29年度～令和9年度

年度	経 過
H29	二期改修事業に着手 (第二施設 L=約7.6km)
H30	胆振東部地震 (改修対象区間で漏水発生)
R1～4	柏原地区L=約4.7km工事完了
R4	勇払地区 実施設計完了
R5	柏原地区L=約1.0km工事完了
R6	勇払地区L=約0.3km工事予定



○ 事業計画図



	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R6 (2025)	R7 (2026)
基本設計	(柏原・勇払) 										
第二施設幹線(柏原地区) φ 1100 L=約5.7km		実施設計 	←————→					→			
第二施設幹線(勇払地区) φ 1100 L=約1.9km						←————→		←————→	←————→	←————→	
補助金の取扱い			単年度・新規事業								



工事施工状況